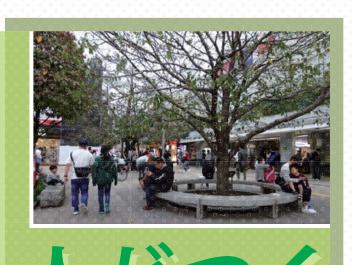


「調布の景観」 - 駅まわり編 -







みなさんは、まちを歩いているときに、 周りの風景に目をとめることはありますか? 普段、見慣れた風景も、 ふと立ち止まり、周囲を見渡して見ると、 新しい発見があるかもしれません。

> この冊子では、まちの中心にある 「駅」と「駅まわり」について、 市民目線で見渡し、 あらためて発見した 魅力ある景観を紹介しています。

この魅力を多くの人に知ってもらうとともに, 今後の景観まちづくりに 活かしていきます。

「駅まわり」とは

駅舎や駅前広場はもちろんのこと、商店街や1本入った裏道などの駅周辺を含めたエリアを「駅まわり」と表現しています。

景観とは

山や川などの自然,建物や街並み, 道路,並木道の緑,人々の暮しの様子など, 私たちが日ごろから目にしている 「対象」をあらわす"景"という文字と, それらを目にした私たちの「価値観」をあらわす"観" という文字が 組み合わされた言葉です

目次

•	調布らしさが感じられる3つの視点	. 1
	線路の地下化や周辺開発などによりまちが変化していくなかで、駅や駅まわりを見渡しあらためて発見した、「調布らしさを感じる」景観をまとめました。	
2	. 市内9駅の状況と調布駅の移り変わり	7
	市内9つの鉄道駅の構造(地平、地下、高架など駅の状況)や、市内の中心である調布駅の移り変わりについてまとめました。	
3	. 駅まわりの景観とは	П
	駅やその周辺の風景を構成している,「もの(要素)」について紹介します。	
4	. 市内9駅の駅まわりで発見した魅力ある景観	12
	市内 9 駅の魅力ある景観をまとめました。紹介されている内容を参考に, あなた自身で魅力スポットを探してみてください。	
5	,参考	31
	駅や駅まわりの景観を考える上で、調査した内容をまとめました。市内の 9 駅の景観について、もっと知りたいという方はご覧ください。	
	(1)市内9駅の駅まわりのまとめ	31
	(2)活かす・必要な風景(中心拠点)	37
	(3) 市内 9 駅の乗降人員(2022 年度)	
	(4) 駅まわりと多様化する駅の景観	
	(5)駅の新しい見かた(6)調布市の景観まちづくり	
	(U/ 婀ヤサ サヤツ尔彻よ 7 / \)	43

※本冊子の内容は令和元年度~令和4年度の市民検討会で使用したものです。また,データや写真等についても検討した当時に集めたもので,現状とは異なる場合があります。

1. 調布らしさが感じられる3つの視点

視点① 広場を見おろす景観

普段歩いているときに見る日常の景色を、少し上から見ると違った風景が 広がり、あらたな魅力を発見できるかもしれません。

調布駅では京王線の地下化により、南北の移動が容易になり広場の持つ役割も大きく変わりました。

普段は地上からしか広場を見ることはありませんが、広場を 囲む建物から見おろす風景は、 調布駅のあらたな景観となることが発見できました。



見おろす風景で発見する「広場のかたち」

バス停やベンチが円形で構成されることで, 人の動きも円を描きますが,点字ブロックの線 が広場を縦横に仕切り,囲っているのを見るこ ともできます。

一方で、広場の舗装とともに存在感のあるバス停の屋根、プレイロットなどが目立つことが わかります。

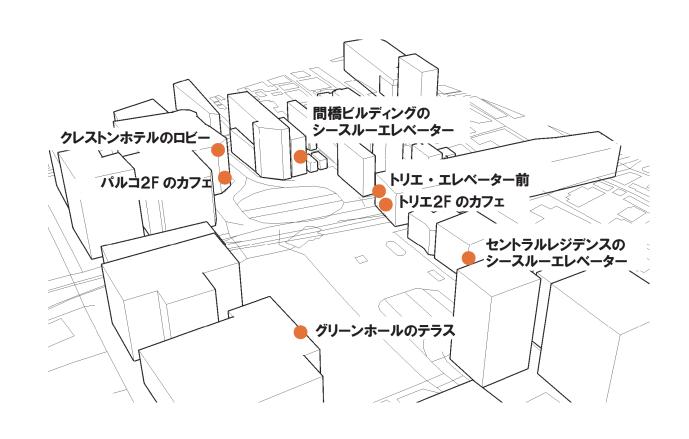








調布駅の広場空間を見おろすことができる場所



シースルーエレベーターから見る広場

地上では「広場の周囲」を、ビル上部からは「広場を俯瞰」して見ることができ、その境界がエレベーターの3階から4階付近(地上10m前後)にあるように感じました。

駅周辺は地上から見あげると密度の高い街に感じますが、見おろすと空間が多くあることが感じられます。







1. 調布らしさが感じられる3つの視点

視点② 空と夕陽の景観

普段何気なく歩いているとまちの変化に気づきにくいものですが、駅まわ りの変化とともに現れた、空や夕陽を見ることができるあらたなスポット を探してみて下さい。

京王線の地下化に伴い、線路や架線が無 くなった上空に空や雲の存在を認識し、さ らには素晴らしい夕陽を見ることができま した。

それをきっかけに、調布市内の駅まわり では、それぞれの立地条件・季節に応じて 様々な空や夕陽を見ることができることを 発見しました。



京王線の地下化により元線路上空にあらわれた「西への眺望」

国領駅から調布駅間の地下化により、鉄道や 架線の影響で見えにくかった上空への眺望が広が りました。

空への広がりととも に、日が沈む方角に、 これまでとは違う夕陽 を見ることができ、駅 間を結ぶ通路が、夕陽 に向かって歩けるあら たな散歩ルートになる ことを発見しました。





国領駅周辺ビルから西への眺望

市内の駅周辺からの夕陽鑑賞

夕陽を見るといっても場所に より見え方が異なります。

駅やその周辺でも鑑賞できるス ポットについて、見どころとなる 季節や時間によって見え方が変化 することを発見できました。



間布駅・布田駅からの夕陽鑑賞 5月上旬・8月中旬の18時半ごろ 見どころ:ビルのガラスに映りこむ夕焼け

領 - 調布間: 夕陽に向かって歩く



国領駅からの夕陽鑑賞 3月下旬・9月下旬の18時ごろ

京王多摩川駅:夕陽と富士山の共演



12月下旬(冬至)の16時ごろ 見どころ:ホーム先端から多摩丘陵に沈む夕陽

※各駅の夕陽鑑賞の時期や見どころについては、シミュレーション結果による目安になります。

市街地ならではの空と夕陽のある風景

細い道が入り組んでい たり, 高い建物に囲われ ている隙間から空や夕陽 の風景は、市街地ならで はの風景で、天候や時間 などの制限があるなかで しか見ることができない 美しさが感じられます。



トリエ A 館北側通路の西方向の



1. 調布らしさが感じられる3つの視点

視点③ 人がつくる景観

風景は自然や緑, 建物などと思いがちですが, 人の存在も立派な景観の 一部です。生活するまちのなかで、人を感じ、人がつくり出す景観を意 識して探してみて下さい。

コロナ禍では、日常での身近に人 が行き交う場面が明らかに減ってし まいました。

「人がいる」、「人を感じる」こ とができる場面が、まちの景観を形 成する一部であることをあらためて 認識しました。



古い街区の細い道や踏切から感じられる風景

古い街区の細い道や場所では、狭い空間に人が集まることから、人 を身近で親密に感じる風景が日常となっています。





駅まわりの歩行空間の賑わい

商店街では、人が多く集うこ とで、賑わいを感じる景観を創 出しています。

広場や道などの大きさ(スケ ール) によって、人と人との距 離に違いが生まれます。







地下化により生まれた駅前広場周辺の空間がつくる人の風景

駅前広場に設置されたベンチや 遊具. 乗車を待つバス停など. 自 然に人が集まる空間に人がつくり 出すあたたかみのある景観が生ま れています。







つつじヶ丘駅(京王線)/橋上駅

2. 市内の9駅の状況と調布駅の変遷

(1)市内9駅の状況(構造等)

市内にある9つの鉄道駅の位置と構造(地平,地下,橋上,高架など)を紹介します。



飛田給駅 (京王線) /橋上駅





中央高速道路

西調布駅(京王線)/橋上駅





西調布 調布

布田

京王多摩川





京王多摩川駅(京王相模原線)/高架駅

※ (一社) 日本民営鉄道協会 鉄道用語辞典「駅」の分類を参考

(2)調布駅と駅まわりの移り変わり

市の中心である調布駅も、長い歴史のなかで駅の移転、駅舎の形状や駅周辺 の変化など様々なことがあって、現在の駅や駅まわりになっています。

駅の変化にあわせて利用者が増加するとともに、道路や駅前広場、周辺の建 物など街並みも大きく変化していることがわかります。



昭和 28 (1953) 年/調布駅



昭和39(1964)年/調布駅南口広場

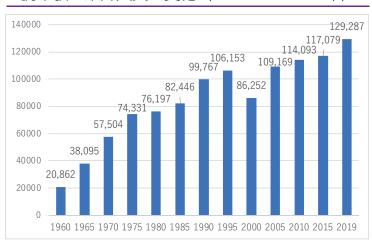


昭和 46 (1971) 年/調布駅北口



平成 24 (2012) 年/調布駅北口 ※写真は調布市郷土博物館提供

調布駅の乗降人員の変化 (1960~2019年)



調布駅と周辺の主な出来事

1953年: 調布駅が現在の位置に移転

1971年: 京王相模原線の京王よみうりランド駅

まで開業

1989年:「調布パルコ」オープン

2008年: 京王線の地下化に伴う仮設橋上駅の

使用開始

2012年: 地下駅に切り替え

2017年: 「トリエ京王調布」オープン

※「東京都統計年鑑」内データの「乗車人員」と「降車人員」を合算し、1日平均に除して算出しています。 ※2020 年度はコロナ禍による緊急事態宣言等があったことから 2019 年の数値を採用しています。



現在の位置より西側に調布駅, 京王 線の北側に調布町役場、現在の調布 駅南側に第一小学校がありました。



市役所が現在の位置に移転(1971 年) しました。バス停は駅から離れ た所で乗り降りしていました。



調布駅から甲州街道までの道路が開通。 中央公民館がたづくりに移転し、駅の 南側にロータリーが完成しました。



甲州街道が開通し、駅と第一小学校 が現在の位置に移動。町役場は市役 所となり駅の南側に移りました。



駅前にパルコがオープンし、北側の ロータリーでバスの乗降ができるよ うになりました。



京王線が地下化し、100年振りに線 路で分断されていた南北が一体化し ました。

※出典:「国土地理院」または「地理院タイル」等(https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html)

3. 駅まわりの景観とは

駅前に立つと、駅舎や線路、駅前広場だけでなく、周辺の店舗やマンション、 ビルなどの建物、広告物など様々なものが見えます。

また、駅を利用したり、周辺に住んでいる『人』や目に見えない『歴史』、 『文化』も景観をつくり出している要素のひとつです。



いろいろな要素が重なり『駅まわりの景観』 がつくられています! 駅を中心に、広い範囲で『景観』について考 えてみてください。



4. 市内 9 駅の駅まわりで発見した魅力ある景観

調布市には9つの鉄道駅があり、通勤・通学、来訪者など様々な利用者がい ます。また、駅の形状やその駅まわりもそれぞれの特徴があり、駅ごとに別の 表情を見ることができます。

あらためて市内9駅を見直し、駅まわりの魅力ある景観を発見し、まとめて みました。

みなさんも街を歩き、自分なりの魅力を発見してみましょう。

【駅まわりを歩いて発見した、魅力と感じたキーワード(例:調布駅・飛田給駅)】

「調布の自然、文化、歴史の香りが感じられ、 広場空間に賑わいが出る独自性のある駅前」

「調布といえば・パルコ」、「電線地中化」、 「スクランブル交差点」、「広場」、「大木」、 「多年草」、「市民参加」、「ガーデン」、 「お疲れ様」、「モノからヒトへ」、「おしゃれ」、

「夜の明るさ」、「目立たないけど」

飛田給駅

「若者」,「ever young」,「成長」,「健康」, 「試合(ライヴ)は駅から始まっている!」, 「スポーツ競技を通じた交流やにぎやかさ、 だれもが若くなれるまち」 「残る街、変わる街」、「新旧の境目」、「バリアフリー」、 「未来的な駅舎」、「夢をのせて」、「ゆるやかな歩道橋」、 「人を癒し、元気にする花飾り優しさ」、「直線」、 「イベント」、「看板(サイン)」、「FC東京」、 「緑」、「安心」、「電車と畑」、「広い空」、「四季」、 「直売所」,「地産地消」

仙川駅 せんがわ

昔から人との距離が近い 南北に伸びる商店街には、 懐かしさを感じ、それが 魅力となっています。

キューピーの建物は, 工場から研究や見学で きる施設に変わり、地域 の新たな魅力スポットに なっています。





仙川駅は市内でも2番目 に乗降人員が多い駅。 学校が多く点在することから カルチェラタン(学生街)の 雰囲気が感じられます。



桐朋学園

○周囲に学校や病院が立地していることから、市内の乗降人員が調布駅に次いで2番 目に多い駅となっています。

- ○昭和時代から、小規模の店舗が連続して立ち並ぶ商店街が構成されています。
- ○駅周辺の再開発により、中・大型店舗が出店して更に活気のある街へと変貌してい



季節ごとに人々を和 ませてくれる桜の木の 下には、待ち合わせや 休憩をする人が常に集 まっています。

広場や公園など,人中心

の歩行者空間と個性的な 店舗がバランスよく配置 されていて,歩いて楽し い空間です。

あなたが考える仙川駅の駅まわりの魅力ある景観スポットは?

50m 100m N

マップを参考にまちを歩き、あらたな魅力を発見してみて下さい

つつじケ丘駅

m 5

50m 100m

駅の壁面に木質系の 素材,トイレの壁を レンガ調にすること であたたかみを感じ ます。

さらに地域の人が手 入れをしている花の ある風景に心が癒さ れます。



18

調布市

駅周辺の発達とと もに、駅前広場も 整備され、ターミ ナル駅としてもバス の発着が多く見ら れる駅です。



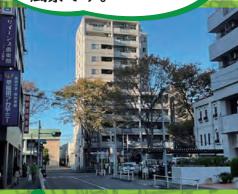
田州街道

常楽院では, つつじヶ 丘駅の列車接近メロ ディーに採用されて いる「思い出のアル バム」の歌碑を見る ことができます。



あなたが考えるつつじヶ丘駅の駅まわりの魅力ある景観スポットは?

街が変化する中, 甲州 街道に並ぶケヤキ並木 の緑が安心感を与える 風景です。



「木」をイメージ した駅舎が特徴 で、駅舎の中の 吹き抜けは開放 感があり魅力的 です。



あらたに整備され た駅前とマンショ ン群の街並みで, 未来が期待される 風景です。





刻なおかわな風いない。

- 〇昔は地下に降りてからホームに上がっていましたが、平成 23 年に現在の橋上駅 になりました。
- ○駅南□は今後の道路整備により、道路沿いの街並みの変化が予想されます。
- ○北□のロータリーからは、深大寺・神代植物公園へのバスが多く発車しています。
- ○つつじヶ丘児童館には、調布で生まれた「今日の日はさようなら」の歌碑があります。

崇城縣

マップを参考にまちを歩き、あらたな魅力を発見してみて下さい。



マップを参考にまちを歩き、あらたな魅力を発見してみて下さい。





甲州街道

国領神社の境内の大木 の藤は樹齢約400~ 500年で、圧巻のス ポットとなっています。

あらたにできた 駅前には,広場 とともに樹木が 植えられ,心地 よい場所となっ ています。

駅周辺は店舗も少なく、 駅舎もまちに溶け込み、 落ち着いた雰囲気の駅ま

わりとなっています。

あなたが考える布田駅の駅まわりの魅力ある景観スポットは?

平日の昼間にひと けを感じさせない, 静けさや緩さが魅 力となっています。

マップを参考にまちを歩き、あらたな魅力を発見してみて下さい。



西調布駅

にしちょうふ



近藤勇生誕の地とし て, 西光寺ではお祭 りも開催され、西調 布周辺の観光スポッ トとなっています。

「駅まわりにこだ わりのある店が あることで、人 が集まる、活気 あるまちに繋が

ります。





高速道路 (中央道) が交差するのが見え る,他の駅にはない 特徴的なポイントと なっています。

道路の拡幅が予定さ れている道ですが、 昔ながらの商店が建 ち並び、生活に密着 した風景が感じられ ます。



○ 駅北□のロータリーが整備され、駅周辺の新たな店舗が街の賑わいを作り出し ています。

○駅まわり全体でみると落ち着いた住宅街の街並みです。

○ 駅近くの路地に、昔ながらの商店街を感じられる風景があります。



路地裏に入ると昔ながら の商店街が残っており、 ヒューマンスケールな ほっとする風景が感じら れます。

新しい駅前広場で は、おしゃれな ガーデンが駅前の 顔づくりに一役 買っています。



線路と街並みが近い からか,鉄道を身近 に体感できる場所と なっています。

あなたが考える西調布駅の駅まわりの魅力ある景観スポットは?

0m

50m 100m N

マップを参考にまちを歩き、あらたな魅力を発見してみて下さい。

■■■■■■ 4. 市内9駅の駅まわりで発見した魅力ある景観 ■■■■

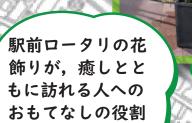
飛田給駅

とびたきゅう

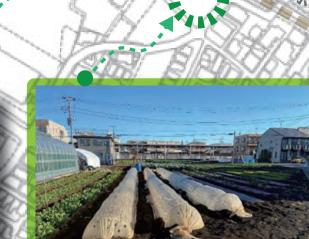
50m 100m N

> 飾りが、癒しとと もに訪れる人への を果たしています。

近未来を感じさせる駅舎と若い 街路樹が、今後の成長を感じさ せる風景となっています。



佐田給 一



1229ジアム

北口の装いとは一変し、高い建 物もなく空の広がりとともに 四季の移ろいも感じられる農地 のある風景となっています。

○ 武蔵野の森総合スポーツプラザや調布基地跡地運動広場など、スポーツ施設の 利用者が多く来訪します。

○ 道路や街路樹の整備に伴い、スタジアム通り沿いに緑の多い景観となっています。

○ 大規模イベントの際は駅や周辺建物のラッピング, のぼり旗, フラッグ等によ る街全体での雰囲気づくりにより、街の装いが変貌します。



イベント開催時は「スタジアム通り」 の名称にふさわしい賑わいとなります。 一方で日常とのギャップを強く感じる 場所となっています。

飛行場の近くで あることを感じる ことができます。

駅とともに整備された 道は,電柱が地中化さ れ見通しの良い歩行空 間となっています。

あなたが考える飛田給駅の駅まわりの魅力ある景観スポットは?

昔からある旧道 と,駅前広場が段 差なく繋がり、そ の線が新旧の境目 があるように感じ る風景となってい ます。

出た瞬間からワクワクが広が る空間となっています。

イベント開催時には、改札を

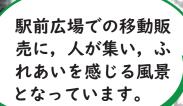
マップを参考にまちを歩き、あらたな魅力を発見してみて下さい



- 開業当初(1916年)は多摩川の砂利運搬が主でしたが、京王閣(遊戯施設) が開業(1922年)してからは多くの行楽客に利用されていました。
- 現在は、中高層の住宅が立地し、落ち着いた街並みとなっています。
- ○多摩川に隣接しており、市内唯一の高架駅です。
- 今後は、駅西側の地区整備に伴い、駅まわりの街並みの変化が予想されます。



平日や京王閣競輪が 開催されていない時 は、のどかで平穏な 駅前空間です。





駅前広場に空間がある ことで、イベントやお 祭りなど、様々な表情 を見ることができます。

5. 参考

(1)市内9駅の駅まわりのまとめ

市内の鉄道駅の駅まわ りを市民の目線で調査し た「魅力」について、「駅 の現況」とあわせてまと めました。

また、各駅の「魅力」 の要素について整理し. 一覧にまとめました。



仙川駅

駅の現況 京王本線・京王相模原線(53駅)乗降人員ランキング(2022年度):8位 路 京王線 (地平駅) 構造 各駅・快速・区間急行 67,190 人 / 日 京王相模原線 (2022 年度)

※京王線HP等を基に作成(2022年度時点)

キーワード

駅前の大きな桜 若い人が多い街 狭い道 学校が多いまち 歩行者中心のみち 活気ある 個性ある低層の店舗群 ○桐朋学園、白百合女子大学、都立神代高校など多くの学生が利用する駅です。

- ○昭和の時代から駅まわりに沢山の商店が並び、大規模な商店街が構成されています。
- ○駅前広場、桜の木、駅前のベンチ、駅に近接した商店街など、駅から比較的近い 場所に「魅力」が集中しています。
- ○学生を中心とした若い人の利用も多く活気があります。
- ○車の通れない歩行者中心の道沿いに商店街が構成され、多くの買物客で賑わって
- ○駅から離れるにつれて、学校や安藤ストリート、大規模商業施設などの建物が建 ち、仙川の「魅力」となっています。







つつじヶ丘駅

駅の現況 京王本線・京王相模原線(53駅)乗降人員ランキング(2022年度): 19位

路 京王線 (橋上駅) 京王相模原線

急行・特急

各駅・快速・区間急行 38,162 人 / 日 (2022年度)

※京王線HP等を基に作成(2022年度時点)

近くの花 農地・畑 新旧の共存 あらたなまちの姿 利便性 ひとのあたたかみ バス (深大寺行き)

- ○深大寺・神代植物公園方面のバスが1日100本以上もあり、居住者や来訪者に とって利便性が高いです。
- ○駅の南側は、農地や果樹園などの緑が多くみられ、自然を感じられる雰囲気があ ります。
- ○市民の活動によって飾られた花が、まちを彩る「魅力」となっています。
- ○南□は駅前広場と道路の整備が進められており、あらたなまちの姿が期待されます。







柴崎駅

駅の現況

京王本線・京王相模原線(53 駅)乗降客数ランキング(2022 年度): 35 位

路 京王線(地平駅)

京王相模原線

各駅・快速・区間急行

15,817 人 / 日 (2022 年度)

※京王線HP等を基に作成(2022年度時点)

キーワード

なつかしさ 線路・踏切 駅との近さ 安心感 不便さ まちにあった変化 歴史

- ○昭和の時代から変わらない駅舎で、数段階段を昇ればすぐにホームに出られます。
- ○改札を出ると傍にお店がある。踏切の音を聞きながら遮断機が開くのを待つ風景を 感じられます。
- ○駅近くの商店街と住宅が隣接しており、駅から出ると安心感が生まれます。
- ○新しいお店ができていました。地元の人々に愛されながらゆっくり変化するまち が「魅力」です。







国領駅

駅の現況

京王本線・京王相模原線(53 駅)乗降客数ランキング(2022 年度): 21 位

路 京王線(地下駅)

京王相模原線

各駅・快速・区間急行 ・急行・特急

31,746 人 / 日 (2022年度)

※京王線HP等を基に作成(2022年度時点)

キーワード

人が集う 駅前広場 駅周辺再開発 道路整備

デザインの調和 歩きやすい

地下駅のスタート

○駅前には昼間に子どもたちが駆け回り、イベント時には多くの人で賑わう広場があ ります。

○京王線が地下に入るところが見られるカフェなど「魅力的」なスポットがあります。

- ○夕刻時改札から出ると、夕陽が見えるほっとした風景があります。
- ○建物の高さや壁面に変化があり見た目が良い。
- ○駅舎とその周辺の建物のデザインの調和がとれています。
- ○派手さはないが、落ち着いて歩ける街です。







布田駅

駅の現況

京王本線・京王相模原線(53 駅)乗降客数ランキング(2022 年度): 42 位

路 京王線(地下駅)

京王相模原線

急行・特急

各駅・快速・区間急行

12,459 人 / 日 (2022 年度)

※京王線HP等を基に作成(2022年度時点)

キーワード

ターミナル駅の隣 緩さ・静けさ コンパクト

旧線路跡地 あらたなまちへの期待 ほっとする風景 癒しとなるみどり

○駅まわりに高層の建物や商店も少なく、落ち着いた静かな住環境となっています。

- ○京王線の地下化に伴い生まれた旧線路跡地が、住民の憩いの場となるよう期待さ れています。
- ○国領神社、常性寺など駅の周辺に神社仏閣が点在しています。
- ○駅から少し離れた場所には、人々の癒しとなる緑地や農業風景があります。







調布駅

駅の現況

京王本線・京王相模原線(53 駅)乗降客数ランキング(2022 年度): 2 位

路 京王線 (地下駅)

京王相模原線(地下駅)

各駅・快速・区間急行 ・急行・特急

109,110 人 / 日 (2022年度)

※京王線HP等を基に作成(2022年度時点)

キーワード

調布市の玄関口 新しい駅前広場 新旧の高層建物 開けた空・夕陽 来訪者・住民 街路樹・植栽 駅の変革と歴史

- ○調布市の玄関□として通勤・通学、買物客等多くの乗降客に利用されています。
- ○京王線の地下化、駅周辺の再開発等に伴い、リニューアルしたあらたな調布市の 玄関口として期待されています。
- ○駅前広場や上空に開けた空、夕陽の見える風景が、「魅力」です。
- ○駅周辺は、再開発や道路の整備に伴い、街路樹や植栽が増え、季節を感じる花 々が飾られるガーデン等もあり、街を「魅力的」に彩っています。
- ○週末にはフリーマーケット等が開催され、多くの人で賑わう駅前の「魅力」と なっています。







西調布駅

駅の現況

京王本線・京王相模原線(53 駅)乗降客数ランキング(2022 年度):36 位

路 京王線 (橋上駅)

京王相模原線

各駅・快速・区間急行 急行・特急

15,112 人 / 日 (2022 年度)

※京王線HP等を基に作成(2022年度時点)

キーワード

あらたな憩いの場 新と旧の共存 未整備の道路 路地裏 昔ながらの店舗 生活と密着 新選組・近藤勇

- ○駅から旧甲州街道にかけて道路と駅前広場が整備されたことにより、交通の利便性 が向上するとともに広場空間が広がり、あらたな憩いの場となっています。
- ○西調布一番街の商店街の中にはリノベーションした店舗もあり、あらたな形の商店 街ができることが期待されています。
- ○駅南側の道路が未整備のため、店舗が沿道に軒を連ね、生活と密着した風景が見え る昔ながらの街並みも「魅力」のひとつとなっています。
- ○駅近くの西光寺は、新撰組 近藤勇の「生誕の地」として座像が設置されており、 地域の名所として「魅力」となっています。









飛田給駅

駅の現況

京王本線・京王相模原線(53 駅)乗降客数ランキング(2022 年度): 28 位

路 京王線(橋上駅)

京王相模原線

各駅・快速・区間急行 ・急行・特急

16,424 人 / 日 (2022年度)

※京王線HP等を基に作成(2022年度時点)

キーワード イベント (スポーツ等)

駅周辺の発展 駅舎デザイン 大型集客施設 非日常の一コマ 安心感 四季と広い空

○スタジアムでのイベント開催時には駅構内のフラッグが変わり、会場に向かう人々 を盛り上げます。

○スタジアム通りは桜並木が続き、駅前広場は季節ごとに花壇の花が植え替えられて います。

○グッドデザイン賞を受賞した近未来的なデザインの駅舎、駅からスタジアムまでの 歩道はバリアフリーを念頭に誰もが移動しやすく作られています。

○駅の南側に隣接した畑では、広い空が見渡せるほっとする風景があります。







京王多摩川駅

駅の現況

京王本線・京王相模原線(53 駅)乗降客数ランキング(2022 年度): 37 位

路 京王線

線 京王相模原線(高架駅)

各駅・快速・区間急行 急行・特急

13,949 人 / 日 (2022年度)

※京王線HP等を基に作成(2022 年度時点)

キーワード

多摩川 河川敷 高架の橋上駅 静と動 野球場・テニスコート 東京オーヴァル京王閣 鉄橋と電車

○市内唯一の高架駅で多摩川に隣接していることから、川・鉄橋・電車をセットで 見られます。

○京王閣や多摩川河川敷でイベントが行われる時は、多くの来訪者が訪れますが、 普段はのどかで平穏な風景が「魅力」です。

○多摩川が近くにあり、週末には河川敷に多くの市民が訪れます。

○駅隣接地で開発計画が進められており、今後京王多摩川駅の「魅力」の一つになる ことが期待されます。







各駅の「魅力」の要素

- ・景観まちづくり市民検討会のみなさんに見つけていただきました「駅まわりの魅力」のキーワードを、景観を構成する 要素として、「もの」「ひと」「感性・自然」に分類しました。
- ・景観まちづくり市民検討会のみなさんが普段から利用している駅の場合、建物や木などの物質的なものとあわせて、人 や賑わいなどの感覚的なものが魅力としてあげられました。
- ・調布駅は京王線の地下化に伴い駅舎がなくなったため、駅周辺の広場・ロータリー・商業施設を題材としてそれぞれの 思いでキーワードやコメントが語られています。

FD	駅から)の要素	
駅名	の位置	もの (単体)	もの(つながり)	ひと(集い)	感性・自然
仙川	駅前	桜, ベンチ 駅舎	商店街店	買物客	活気
駅	駅周辺	学校,劇場 スーパーマーケット	大学, 高校 安藤ストリート	学生	賑わい
つつじ	駅前	駅舎, ロータリー 花 (花壇)	バス停(深大寺行き)	通勤,通学 観光客	家路 安心感
つつじヶ丘駅	駅周辺	畑 踏切	商店街 甲州街道	-	新たなまちへの期待感
柴崎	駅前	駅舎,駅ホーム 踏切	商店街 店	地元の人々	昭和 落ち着き
駅	駅周辺	けやき並木	甲州街道	_	まちがゆっくり変化
国領駅	駅前	駅舎,地下駅 駅前広場	再開発ビル, 西友 ココスクエアー	地元の人々	新しいまち
駅	駅周辺	マンション	狛江通り	住民	落ち着き
布田田	駅前	駅舎,地下駅 ロータリー	店	地元の人々	新しいまち 落ち着き
駅	駅周辺	低層住宅,鉄道跡地 寺院,神社	三鷹通り 常性寺,国領神社	住民 農作業	いやし
調布駅	駅前	地下駅,駅前広場 デパート	バス停, 街路樹, 植栽 パルコ, 西友, トリエ イベントスペース	通勤,通学 買物客,乗り換え	調布の玄関 変革のまち
駅	駅周辺	商業施設 マンション	商店街 旧甲州街道	交通結節点	開けた空 夕陽
西調	駅前	駅舎 ロータリー	商店街	地元の人々	家路
調布駅	駅周辺	低層住宅 寺院,畑	天文台通り 西光寺(近藤勇像)	住民	新旧の共存
飛田給駅	駅前	駅舎 ロータリー	スタジアムまでの道	イベント客	非日常
給制	駅周辺	スタジアム 調布飛行場 低層住宅, 畑	スタジアム通り サッカー, スポーツ コンサート, イベント	イベント客 スポーツ愛好家	広い空 安心感
京王多	駅前	高架駅,小さい広場 京王閣	桜堤通り	住民 京王閣客	のどか
京王多摩川駅	駅周辺	多摩川, 鉄橋 スポーツ施設	少年野球場 京王テニスコート 花火大会	スポーツ愛好家	イベント

・表の作成に当たっては,市民検討会で発見した「魅力の理由」や「魅力を感じさせるキーワード」を基にしています。

(2)活かす・必要な風景(中心拠点)

主要なスポー

てなしの一環

花壇です。今

変化を遂げている市の中心拠点である調布駅の駅まわりにおいて、今 後も「活かしていくべき風景」と「新たに必要な風景」について、市民 日線で発見した内容をまとめました。

活かして いくべき



ち合わせや休 憩のスポット,保育園児の散歩コース, 神代植物園へ繋がる緑の散歩道の起点と なっています。

調布の顔である調布駅前に、駅前花壇の ある風景を残したい。



排気筒は移動できないが、映画 の街の印象付けとともに, 案内 にも活用されています。さらな るデザイン、周辺のアート化に よりより良くなると思います。

みんなのリビング

京王線の地下化によって、劇的に変貌したのは駅まわりの居心地の良 さではないでしょうか。開放的なパブリックスペースが増え、電車の 音で会話がかき消されることもなく、まち中に人々の居場所ができま

調布駅まわりの良さは、商業・業務の集積の規模が大きすぎず、市の 中心の交通結節点でありながらも、交通だけに支配されずに人の居場 所があるところだと思います。



華やかで洗練された夜景

トリエC館から駅前広場方 面に向けて青系統のカラー 企業が多いからか、黒系の 壁面の背景に青い看板の夜 景が美しく見えました。



街道→宿場町→商店街→バス 通りと、時代とともに目的が 変化するなか、調布駅周辺の 回遊軸として、今後も活用さ れていくことを期待します。



路地の商店街の景観

駅前の大規模な商業 施設やチェーン店だ けでは、どこのまち も同じになってしま います。

新宿の思い出横丁や 吉祥寺のハモニカ横 丁は, 今も人を惹き つけており、調布で も飲食店や居酒屋が 立ち並ぶ商店街や路 地裏、横丁などは、 今後も残していきた い景観です。



新たに 必要な

子育でがしたくなるまちへ。



駅周辺には多くの子育で施設 があり、よく園児たちが駅前 広場に遊びに来ています。こ の日はグリーンホール前のプ レイスペースで遊んだ後の帰 り道の風景です。

誰もが安心(ほっと)してい られる場所を、駅まわりに用 意できたら良いと思います。

ゆとりある駅前通りの創出



調布駅に至る南側の駅前通りは、歩 道の一部が駐輪場として利用される ことで、歩行空間が狭くなっていま

時間はかかるかもしれませんが、建 物がセットバック, 歩道上の駐輪場 を移設することで、歩きやすく、買 い物がしやすく、居心地が良いまち になっていくと思います。

新たな待ち合わせ場所



「渋谷駅ならハチ公前」と いった待ち合わせ場所が調 布駅にはありません。 駅前に調布らしさも感じら れるモニュメントがあれば 目印にもなり、調布駅の待 ち合わせ場所の定番になる と思います。

音に癒される駅前広場

生演奏の音楽が聞こえてくる街は文化 に対する意識が高くなると思います。 様々なイベントと共に、駅前広場に多 様な音楽がBGMとして広がると、人 の気持ちを和ませ高揚させます。 その環境に人が集い, 賑わいが創出さ れ、調布市の顔にふさわしい駅前にな ると思います。

『夕日眺台」(ゆうひちょうだい) の設置



夕日を眺望できるデッキを設置して 調布の新たな名所を創出。階段はデ ッキ幅と同じにし、 蹴上や踏面はゆ ったり取り子どもたちの遊び場兼べ ンチにします。自転車駐車場の上に 設置することにより屋根となり、イ ベント利用も可能なスペースとなり

新たな賑わいの場へ





調布駅前広場が南北につながった段階で調 布駅自体がすでに、昭和、平成の駅ではな く、令和の駅に変貌したことに気づきまし た。人が集う空間、スペース、イベント、 施設など年々変わっていく調布駅周辺の変 化を押さえるのではなく、市民・事業者・ 行政が一緒に考え,変化を楽しむ視点が必 要だと思います。

(3)市内の9駅の乗降人員

市内にある9つの鉄道駅の1日の乗降人員(令和4年度/2022年度)を紹介します。 仙川駅 ^{順位} 8/53 ※乗降人員については京王線HPを参照 67,190人/日 神代植物公園 開業 1913 年(大正 2 年) 計:30,000人/日)10,000人/日 ∞つつじヶ丘駅 ^{順位} 19/53 38,162人/日 調布飛行場 開業 1913年 (大正 2年) 味の素スタジアム 5,817人/日 開業 1913年 (大正 2年) 至京王八王子駅 高尾山口駅 国領駅 21/53 31,746人/日 調布市役所 ^{順位} 飛田給駅 22,229人/日 布田駅 42/53 開業 1916年 (大正5年) 京王線・京王相模原線の他駅の乗降人員(2022年度) 12,459人/日 駅名 1日の乗降人員 (53駅中の順位) 開業 1917年 (大正6年) 新宿駅 613,639人/日 (1/53) 西調布駅 千歳烏山駅 74,178人/日 (7/53) 調布駅 順位 2/53 15,112人/日 府中駅 75,924人/日 (5/53) 109,110人/日 80,296人/日 (4/53) 分倍河原駅 多摩川 開業 1916年 (大正5年) 京王八王子駅 46,932 人 / 日 (16/53) 開業 1913年 (大正 2年) 原位 京王多摩川駅 京王多摩センター駅 74,516人/日 (6/53) 橋本駅 82,307人/日 (3/53) 至橋本駅 13,949人/日 開業 1916年 (大正5年)

-39

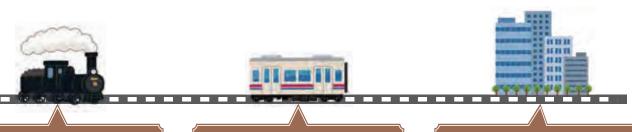
※背景の模型及び模型写真については慶應義塾大学環境情報学部石川研究室が制作

(4) 駅まわりと多様化する駅の景観

① 駅まわりの景観の考え方

駅の役割は、時代の変化にあわせて移り変わっています。

まちのシンボルである駅は、高架や地下化による変化、駅周辺の街並 みや商業施設の開業など、駅を取り巻く状況や姿により大きく変わって いきます。



当初は…

電車に乗る場所

もともと『駅』の役割は、電車 に乗る場所、待つ場所。 電車を待つ時間を過ごすため, 駅前に広場がつくられました。

利用者が増えると

乗り換える場所

電車がたくさん走るようにな り、駅は電車からバス、車、自 転車など、ほかの交通手段 に乗り換える場所になりま した。

現在では

いろいろな目的がある場所

電車に乗るだけでなく、「買い 物に行く場所1、「遊びに行く 場所」になり、駅周辺がまち のランドマークになっていま

参照:駅の構造とまちについて

駅まわりの街並みは駅周辺の構造によって、駅や線路、道路、まちの位置関係や役割が 異なり、それらによって人の流れも変化します。

駅周辺の構造を知っておくと駅まわりの景観を見るうえで参考になります。

狭山市駅 (橋上駅)

)線路と並行して道路があり、 道路を越えたところにロー タリーが設置されています。 ○橋上駅舎と東西を結ぶ連絡通 路 (スカイテラス) が立体的

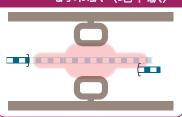
に作られています。

武蔵小金井駅(高架駅)



- ○高架化した線路の下を道路 が交差しており、ロータリ ーがその横につくられてい
- ○ロータリーの西側線路沿い に商業施設や高層住宅が建

調布駅(地下駅)



- ○線路と駅が地下にあり、地 上部が一帯の広場となって います。
- ○南北のロータリーが分かれ ており、駅を縦断する道路 がありません。

② 多様化する駅の景観

時代や地域、土地の構造、機能などにより駅や駅周辺に求められること が多様化しています。

まちのシンボルであった駅舎(建物)自体が、地下化等に伴い地上から 消えたりしています。

何が「駅」を構成しているかを踏まえて「駅の景観」を考えるのもおも しろいです。

デザイナーズ駅

有名なデザイナー, 建築事務所な 駅の再整備などによって, 地域 どによってデザインされた駅。 ボルとなっている。



《例》高尾山口駅, 飛田給駅 金沢駅, 女川駅

"溶け込む"駅

駅の商業施設やバスターミナル などが複雑になり、どこからどこ く高さから駅舎が消えてしまっ までが「駅」かわからない。街に た駅 溶け込んだ駅。



《例》新宿駅, 渋谷駅

ランドマーク駅

の象徴として位置付け直された 駅舎そのものが新たな地域のシン駅。創建当初はデザイナーズ駅で もあったはず。



《例》東京駅

"見えない"駅

地下化によって,地上の人が歩



《例》調布駅, 初台駅

駅の 『オフ』 風景

駅の

『オン』

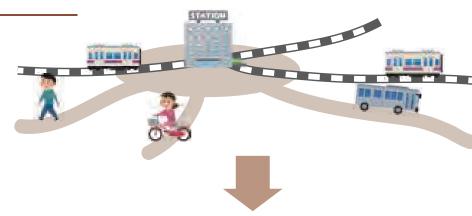
風景

(5) 駅の新しい見かた

駅舎やその周辺の状況によって「駅」とその周辺の役割が変化します。 各駅の個性を捉えながら考えていきましょう。

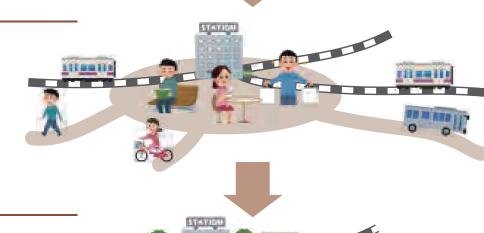
乗り換える場所

駅は電車に乗る・降りるだけでなく、電車から電車、バスや車、徒歩など、「乗り換え」を行う場所でもあります。



留まる場所

乗り換えの時間が空い たり、待ち時間ができ たりすると、駅は「留 まる」場所にもなりま す。



人が集まる場所

駅に留まる人が増えると、駅は人が集まって時間を過ごす場所となり、周囲にお店が増えたり、会社ができたりします。



出会いと交歓の場所

人が集まり、色々なことができることも、駅の役割のひとつです。あらたな「出会い」や「交歓」の場所として駅と駅まわりが賑わっていきます。

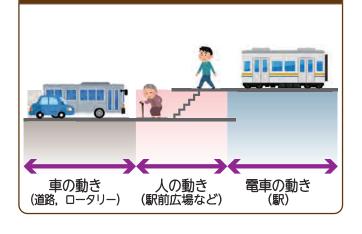


駅とまちの関係性とは・・・

駅は乗り換えるところ

- ・他の交通手段に乗り換える
- ・他の交通手段の乗場まで歩行 がつなぐ

駅とまちの構造



主語が「駅」から 「私」にかわると

私たちが乗り換えるとは

《歩く》

- ・階段や通路を歩く
- ・駅の周辺を歩く

《停まる・留まる》

- ・次の出来事を待つ(仮の留まり)
- ・中間地点(ゴールでない)
- ・息継ぎ・小休止
- 「公園」や「休憩施設」に似ている

出会いと交歓の場とは・・・

駅前広場空間を活用したフリーマーケットやイベントは



- ・市内の仲間との出会い
- ・いつもの人との挨拶
- ・掃除や手入れなどのボラン ティア活動への参加
- ・フリーマーケトへの出店や イベントの開催

バスターミナルやバス停では

- ・近所の人との出会い
- ・買物帰りのちょっとした会話
- ・たまに会う人と待ってる間の 挨拶(会釈)から会話へ



(6)調布市の景観まちづくり

調布市では景観法に基づく「調布市景観計画」を平成26年に策定し、市・ 市民・事業者が連携した景観まちづくりに取り組んでいます。

「調布市景観計画」では、調布市の地域特性を反映した景観づくりのルール や景観法の届出制度による建築物等の規制誘導の仕組みなどを定めています。

景観まちづくりの基本目標

人と自然が織りなす ほっとする暮らしがみえるまち 調布

景観まちづくりの基本方針

- 1. まちの骨格を際立たせる自然環境の景観価値の向上
- 2. 市民生活を支える基盤となる都市施設の魅力的な景観の形成
- 3. 地域の歴史文化を感じさせる景観の熟成
- 4. 地域コミュニティの存在を感じるほっとする暮らしの景観の育成
- 5. 市民のいきいきとした活動がまちの表情を豊かにする景観まちづくり

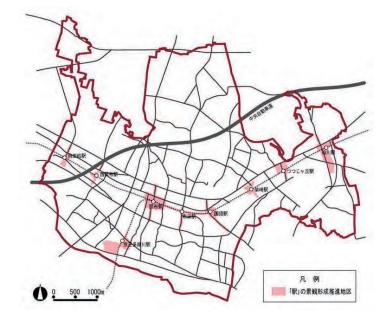


街道沿いに発展したまち

市域を東西に置く甲州街 道と京王線を交通軸にして. 南北方向に市街化が進むこ とにより, 自然環境と都市 環境が編み込まれるように 多様な景観がつくり出され ています。

地域特性に合わせた景観づくり

調布市景観計画では、景観特 性に応じて、2つの景観形成重 点地区、4つの景観形成推進地 区、一般地域を定めて、それぞ れにあった景観形成目標や方針, 配慮事項を定めています。



「駅」の景観形成推進地区

- 地域特性に応じた個性的な駅周辺の景観誘導を図ります。
- 駅周辺の建築物や屋外広告物 などの様々な景観要素へ配慮 します。
- 京王線連続立体交差事業によ る中心市街地の新たな景観形 成を図ります。
- 中心市街地の拠点となる調布 駅周辺の景観形成を図ります。



調布駅周辺の魅力的な都市景観の形成に向けて

- ・人々の交流を促す憩いの空間を創出する
- ・ゆとりの感じられる連続的な歩行者空間を創出する
- ・建築物の低層部は、歩行者の視線に配慮した連続性のあるにぎわいを演出する
- ・駅、駅前広場、主要な道路などからの眺望景観が魅力的になるよう工夫する
- ・積極的な緑化により、潤いの感じられる街並みを形成する

に取り組んでいきます。

昭和30~40年代の市内の駅まわりの風景



仙川駅/昭和40 (1965) 年



つつじヶ丘駅/昭和 42 (1967) 年



国領駅/昭和34 (1959) 年頃



布田駅/昭和49 (1974) 年



西調布駅/昭和 42 (1967) 年



京王多摩川駅/昭和34(1959)年

現在の駅まわりと比べて見てください。

※写真は調布市郷土博物館提供

調布市景観アドバイザー 石川先生より

この冊子にまとめた、駅まわりの景観を検討する4年間の取り組みは、私たちにとって発見の連続でした。

調布には、台地があり、崖線があり、河川があります。そこには市街地があり、住宅地があり、農地があり、寺社仏閣があります。古い街道や坂道や雑木林が残る一方で、 崖地を切り開いて作られた高速道路や幹線道路、線路が通っています。

調布の景観は自然環境やそれを土台にした人工物の景観でもあり、市内を走る鉄道はそれらの多様な景観を横断して、それぞれの地域を結んでいます。

この冊子におさめられた、検討会の皆様が検討・調査を行い、写真や言葉で捉えた 景観を眺めるだけでも、その多様さに驚くのではないでしょうか。

時代の変化によって発見された景観もありました。たとえば冒頭に掲載した「空と夕陽の景観」は、線路の地下化によって顕在化した景観です。もちろん夕陽は以前からあったものですが、線路が地下化したことによって鉄道敷地に東西に抜ける眺望ができたことにより、駅まわりと線路が補助線となって、新たな調布の景観が鮮やかに浮かび上がったのです

もちろん,駅や駅まわりはひとつのきっかけに過ぎません。この冊子を手に取って下さった方は,ぜひこれを手に駅まわりを歩いて,調布の魅力ある景観をさらに見つけて欲しいです。

調布市景観まちづくり市民検討会とは・・・

調布市景観条例にもとづき、市民の参加と協働のもと、市の景観形成に関する課題や将来像について、市民目線で調査・検討・意見交換を行い、より魅力的な景観まちづくりを目指すために、設置された市民の検討の場です。

発行年月:令和6年(2024年)3月

発 行:調布市景観まちづくり市民検討会

監修:石川初(調布市景観アドバイザー/慶應義塾大学環境情報学部教授)

編集協力:調布市都市整備部 都市計画課 開発景観係